

大淀中学校だより 『環』

校内の河津桜も咲き始めています

第16号
京都市立大淀中学校
令和3年2月25日
文責 油谷

河津桜の植樹を行いました

2月5日（金）、「淀さくらを育てる会」の方々が来てくださいり、生徒と一緒に早咲きの河津桜を7本植樹して頂きました。場所は北校舎の北側フェンス沿いです。

今年度1年生では総合的な学習の時間の中で、淀・淀南地域の歴史や商店街、淀城跡、地元の作物、観光、競馬場、神社の歴史など「地域調べ」を行いました。そしてそのうちのひとつで淀河津桜についても調べました。今回はそうした取組もあったので1年生を中心に声をかけ、いつも園芸を頑張ってくれている育成学級の皆さんやボランティア部の皆さんにも来てもらい、総勢20名程の皆さんが植樹してくれました。

最初は「淀さくらを育てる会」の方々が手本を見せてくださいり、その後、各グループに分かれて植樹していきました。土をかけ、水をかけ、桜の木を支えるポールに縛って固定しました。



一心不乱にみんなで集中して取り組むことができました。

「淀さくらを育てる会」の方は『いつかこの桜が育ち、この生徒さん達が大人になった時に、「あれは私達が植えた桜だ」と地元に誇りを持ってもらえたなら嬉しい』と語っておられました。

地元とのつながり、そして桜を愛する気持ち。たくさんの素晴らしいものをいただきました。

「淀さくらを育てる会」の皆様、どうもありがとうございました。またこの模様はNHK京都放送でも放映され、京都新聞でも取り上げていただきました。

2年生総合学習 バザーの取組大成功！



2年生は総合的な学習の時間を使って、各グループで作成したしおりや指輪、キーホルダー、ストラップ、オブジェなどの販売、またステージ上でのショーや手裏剣投げでの景品、さらにゲームなど、教室内にたくさんブースを作ってお客様を呼び込み、それらを仮想紙幣（100YODO紙幣や10YODO紙幣）で各自がお金を落としていくというバザー形式の取組を行いました。お客様は交代制で生徒や教職員です。

それぞれが前もっていただいた110YODOを持ってくじ引きをしたり、ゴム鉄砲で景品を狙うゲームに参加したりしました。

腕相撲チャンピオン生徒と教頭先生の一戦もとても熱のこもった名勝負となりました。何よりいきいきとした生徒の表情がすてきでした。そしてこういう風に商売が成り立っていることを知ることができたと思います。場所代、材料費、これらもYODO紙幣を使って、そこから利益を生むために値段を決め、ポスターを作つて販売まで行うというすごく貴重な体験でした。

社会の仕組みを学べる大変良い取組でした。2年生の皆さん、本当に疲れ様でした。



ちょっと良いお話（1年生男子の素晴らしい行動）

先日、美豆小学校の先生からご連絡をいただきました。「大淀中学校1年生男子3名の生徒が、集団登校に遅れて1人で登校していた小学校1年生の女の子を美豆小学校の正門の所まで送り届けてくれました！」とのことでした。続けて先生は「3人のやさしさに触れて、とても温かな気持ちになりました！」とも。それを伺って私も嬉しい気持ちになりました。さりげない優しさが振る舞えるって、本当に素晴らしいことですね。困っている人がいれば、寄り添い、さしのべる気持ちを私も持ちたいと思います。

1年生男子の皆さんに感謝です。

「言葉の実験」(ありがとうのパワー)

1年生のクラスで「言葉の実験」を行いました。

これは昨年12月の大淀ヒューマンタイムで講演していただいた「たけさん」のお話を基に、人権教育主任の先生のクラスで実験したものです。

みかんをケースに入れ、1.「プラスの言葉」 2.「マイナスの言葉」 3.「無視の言葉」を書いて数日間そのまま置き、様子をみました。

結果は、「プラスの言葉」が書かれたケースのみかんは、ほとんどカビが生えていませんが、「マイナスの言葉」や「無視の言葉」が書かれたケースのみかんは、かなりカビが生えてきました。

「たけさん」が話してくださった通りで「ありがとう」の様な「プラスの言葉」には本当にパワーがあることを感じます。逆に「マイナスの言葉」や「無視の言葉」からは、たとえみかんであっても、このように良くない結果が現れました。「感謝の気持ちを持って生きること」「難が有るから有難う」

もう一度、「ありがとう」の気持ちを持って日々を過ごしたいと思います。

人権教育主任の先生から

『言霊』という言葉があるように、言葉には力があります。

普段私達大人も、子ども達も使っている言葉にはエネルギーがあり、発した言葉（エネルギー）は自分や周りに影響を及ぼします。みかんにも顕著に現れました。これが私達にも影響していると思うと、使う言葉を選ばなければいけないなと思いました。優しい言葉が飛び交う学校になるといいですね。

1年生 いろいろな職業の方々の講演会



1年生は総合学習の時間にいろいろな職業の方に講演をして頂きました。教室に来て頂いた方もいれば、ZOOMで教室と繋がり話をして頂いた方もいました。実際に働いておられる方々から貴重なお話をたくさんして頂いたことも大変良かったのですが、会場準備、そして控え室から教室までの誘導、各会場での司会進行、写真撮影など自分たちでこの講演会のプロデュースまで行ったことも良かったです。それまでもポスターを作成し、インタビューの内容を考えたりなどの準備も担当し、2日間、4つの教室に分かれて講師の皆さんのお話を聴きました。

来てくださったのは飲食業（焼肉屋さん）の方々、パティシエの方、出版社の方、JRA 厥務員の方、パーソナルトレーナーの方、消防士の方、そしてZOOMで靈柩車の運転手さんとJRAの現役騎手の方にお話を聴くことができました。各教室には自クラスでプロデュースするメンバーがいて、その他の生徒はクラスを超えて、自分が聴きたいお話の教室に分かれて移動します。タイムスケジュール管理、次は誰に質問をしてもらうか？間があいてないか？いろいろなことに気を配りながら、そして講師の方に気持ちよく話して頂くことにも神経を使いながらの運営、大変立派でした。印象的なシーンは、講師の方が黒板で説明してくださいたときに、スペースがなくなりかけると、本当にさりげなく、黒板上にあったホワイトボードを引き下げ、講師の方が書きやすいようにした動きをしてくれる生徒がいました。さりげない配慮ができ、すごく機転が利くなあと感心していました。他にも「校長先生、次に講師の方に何か質問してください」とお願いされたのですが、終わった後に、こちらにわざわざ来て、「校長先生、どうもありがとうございました」とお礼まで言いに来てくれました。

本当にこの講演会をプロデュースしてくれていることを実感しましたし、自主運営している姿に感動しました。これらを各クラス内でまた共有しながら、お互いの話を整理し、まとめていきました。とても素晴らしい時間でした。そして講師の皆様のお話はそれぞれのご経験に基づいたもので、本当に素晴らしいかったです。詳しくはホームページをご覧下さい。



育成学級 小学生との交流



育成学級に来年度入学予定の小学生が来てくれて、体験授業を行いました。みんなで飛び出す手紙を作りました。楽しく、教え合いながらも頑張って作成できました。

タブレットを使った授業が始まりました

1年生理科の時間にタブレットを実際に使ってみることになりました。一人ひとりに新しいタブレットが配られ、ログインしていきます。最初は手こずった人もいましたが、お互いに教え合いながら、たどり着くことができました。今後本格的に授業の中でタブレットを使って学習を深めていきます。

